



平成24年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月26日

上場取引所 東

上場会社名 カナレ電気株式会社
 コード番号 5819 URL <http://www.canare.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 尾羽瀬 正夫

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 小淵 敦

TEL 045-470-5503

四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第3四半期の連結業績(平成24年1月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第3四半期	6,098	3.7	646	21.3	692	10.2	398	△6.1
23年12月期第3四半期	5,877	—	532	—	628	—	425	—

(注)包括利益 24年12月期第3四半期 428百万円 (39.3%) 23年12月期第3四半期 307百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
24年12月期第3四半期	59.10	—
23年12月期第3四半期	62.98	—

当社は、平成22年12月期に決算日を毎年3月31日から毎年12月31日に変更したため、平成22年12月期は第3四半期決算を行っておりません。したがって平成23年12月期第3四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	自己資本比率	%
24年12月期第3四半期	8,499	—	7,333	—	86.2	—
23年12月期	8,363	—	7,105	—	84.9	—

(参考) 自己資本 24年12月期第3四半期 7,333百万円 23年12月期 7,105百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
23年12月期	—	12.00	—	13.00	25.00
24年12月期	—	13.00	—	—	—
24年12月期(予想)	—	—	—	14.00	27.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	8,730	7.6	930	32.8	970	20.8	600	8.1	88.89

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(注)当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年12月期3Q	7,028,060 株	23年12月期	7,028,060 株
-----------	-------------	---------	-------------

② 期末自己株式数

24年12月期3Q	278,228 株	23年12月期	278,211 株
-----------	-----------	---------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年12月期3Q	6,749,839 株	23年12月期3Q	6,749,849 株
-----------	-------------	-----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、慎重に策定しましたが、当社で現在入手可能な情報から得られたものを前提に策定しており、リスクや不確定要素が含まれております。実際は、さまざまな要因の変化から、予想とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知置ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
4. 補足情報	10
海外売上高	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期の当社グループを取り巻く経営環境は、引き続き日米市場は緩やかな回復傾向にありましたが、欧州経済悪化の影響を受けた中国経済の減速や円高、価格下落など全体的には引き続き厳しい状況で推移しました。

このような中、当社グループは部品の内製化や海外調達によりコストダウンをはかると同時に新興国での販売強化に注力してまいりました。

この結果、売上高6,098百万円（前年同期比3.7%増）、営業利益646百万円（前年同期比21.3%増）、経常利益692百万円（前年同期比10.2%増）となりました。四半期純利益では前期の助成金収入（特別利益）などが当期はなくなったことから398百万円（前年同期比6.1%減）となりました。

主なセグメント売上高、営業利益は次のとおりです。

（日本）

年度末（1～3月）需要が一時的に増加したことや東日本大震災のマイナス影響がなくなったことから緩やかな回復傾向となり、売上高3,849百万円（前年同期比5.2%増）、セグメント利益（営業利益）439百万円（前年同期比26.6%増）となりました。

（米国）

米国における放送市場の需要が回復傾向となったことから売上高533百万円（前年同期比13.4%増）、セグメント利益（営業利益）26百万円（前年同期比33.7%増）となりました。

（韓国）

韓国の放送市場・AV市場における需要が伸び悩みの中で売上高は624百万円（前年同期比4.5%増、現地通貨ベースでは2.3%減）となりましたが、セグメント利益（営業利益）は円高に伴う売上総利益率の悪化により28百万円（前年同期比45.9%減）と減益となりました。

（中国）

放送市場の需要減、価格下落及び円高の影響によって売上高は562百万円（前年同期比16.1%減）、セグメント利益（営業利益）107百万円（前年同期比19.9%減）と減収減益となりました。

（シンガポール）

業績は比較的順調で、売上高321百万円（前年同期比9.5%増）、セグメント利益（営業利益）56百万円（前年同期比14.2%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末における財政状態につきましては、投資有価証券の増加により資産合計が8,499百万円となりました。負債合計は買掛債務減少によって1,166百万円となりました。純資産合計につきましては、四半期純利益398百万円を計上したものの175百万円の利益配当を行ったことにより227百万円増の7,333百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループ業績は、増収傾向にあるものの国内外の経済状況は欧州経済悪化による世界経済への影響および円高など厳しい状況が続くと予想されます。これに対応するため海外生産移管、海外調達やさらなるコストダウンを推進してまいります。このようなことから、現時点で通期業績予想を修正する必要はないと認識しております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

（追加情報）

会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,712,885	3,843,990
受取手形及び売掛金	1,040,571	867,281
商品及び製品	1,008,678	1,166,369
仕掛品	41,453	38,550
原材料及び貯蔵品	178,504	192,892
その他	523,793	422,953
貸倒引当金	△3,149	△3,323
流動資産合計	6,502,738	6,528,714
固定資産		
有形固定資産		
土地	755,108	746,164
その他	2,106,768	2,193,537
減価償却累計額	△1,660,596	△1,726,734
有形固定資産合計	1,201,280	1,212,968
無形固定資産	6,016	5,077
投資その他の資産	653,621	752,784
固定資産合計	1,860,918	1,970,830
資産合計	8,363,656	8,499,545
負債の部		
流動負債		
買掛金	519,545	444,532
未払法人税等	132,190	112,746
賞与引当金	62,665	141,167
役員賞与引当金	9,897	5,798
その他	329,014	244,301
流動負債合計	1,053,312	948,546
固定負債		
退職給付引当金	3,092	3,478
役員退職慰労引当金	77,820	77,327
その他	123,539	137,074
固定負債合計	204,452	217,880
負債合計	1,257,765	1,166,426

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,047,542	1,047,542
資本剰余金	1,175,210	1,175,210
利益剰余金	6,138,465	6,335,963
自己株式	△335,031	△335,055
株主資本合計	8,026,188	8,223,661
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△26,961	△31,706
繰延ヘッジ損益	1,610	532
土地再評価差額金	△371,051	△371,051
為替換算調整勘定	△523,895	△488,317
その他の包括利益累計額合計	△920,296	△890,542
純資産合計	7,105,891	7,333,119
負債純資産合計	8,363,656	8,499,545

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)
売上高	5,877,288	6,098,779
売上原価	3,824,232	3,865,738
売上総利益	2,053,056	2,233,040
販売費及び一般管理費	1,520,340	1,586,439
営業利益	532,715	646,601
営業外収益		
受取利息	14,044	20,118
受取配当金	2,822	3,682
為替差益	75,920	4,690
不動産賃貸料	4,541	4,446
投資事業組合運用益	—	13,684
その他	9,317	6,090
営業外収益合計	106,646	52,712
営業外費用		
支払利息	464	—
不動産賃貸原価	2,807	3,365
投資事業組合運用損	7,444	2,087
固定資産売却損	—	40
固定資産除却損	—	38
その他	530	1,413
営業外費用合計	11,246	6,944
経常利益	628,114	692,369
特別利益		
固定資産売却益	369	—
助成金収入	34,500	—
特別利益合計	34,869	—
特別損失		
固定資産売却損	147	—
固定資産除却損	99	—
減損損失	843	11,178
特別損失合計	1,089	11,178
税金等調整前四半期純利益	661,894	681,191
法人税、住民税及び事業税	221,873	250,487
法人税等調整額	14,885	31,787
法人税等合計	236,759	282,274
少数株主損益調整前四半期純利益	425,134	398,916
四半期純利益	425,134	398,916

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	425,134	398,916
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△18,285	△4,745
繰延ヘッジ損益	—	△1,078
為替換算調整勘定	△99,139	35,578
その他の包括利益合計	△117,424	29,754
四半期包括利益	307,710	428,670
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	307,710	428,670
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

- (3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年1月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				
	日本	米国	韓国	中国	台湾
売上高					
外部顧客への売上高	3,657,248	470,677	596,948	670,749	82,838
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,676,738	—	—	536,723	—
計	5,333,987	470,677	596,948	1,207,472	82,838
セグメント利益(営業利益)	346,698	19,859	52,478	133,793	9,260

	報告セグメント		合計
	シンガポール	欧州	
売上高			
外部顧客への売上高	293,518	105,308	5,877,288
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	2,213,461
計	293,518	105,308	8,090,750
セグメント利益(営業利益)	49,758	1,779	613,628

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント合計	613,628
セグメント間取引消去	△91,291
棚卸資産の調整額(注)	5,351
その他の調整額	5,026
四半期連結損益計算書の営業利益	532,715

(注) 表示方法の変更

前第3四半期連結累計期間において、報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(以下「差異調整に関する事項」といいます。)の「その他の調整額」に含めていた「棚卸資産の調整額」は、当第2四半期連結会計期間において、相対的に重要性が増したため、区分掲記することとしております。この表示方法の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間の差異調整に関する事項の組替えを行っております。この結果、前第3四半期連結累計期間の差異調整に関する事項の「その他の調整額」として表示していた10,378千円は、「棚卸資産の調整額」5,351千円、「その他の調整額」5,026千円として組替えております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				
	日本	米国	韓国	中国	台湾
売上高					
外部顧客への売上高	3,849,378	533,955	624,344	562,364	100,833
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,614,345	—	—	515,750	—
計	5,463,724	533,955	624,344	1,078,115	100,833
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は営業損失(△))	439,009	26,555	28,344	107,066	15,062

	報告セグメント		合計
	シンガポール	欧州	
売上高			
外部顧客への売上高	321,542	106,360	6,098,779
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	2,130,096
計	321,542	106,360	8,228,875
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は営業損失(△))	56,865	△5,165	667,737

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント合計	667,737
セグメント間取引消去	3,798
棚卸資産の調整額	△32,505
その他の調整額	7,570
四半期連結損益計算書の営業利益	646,601

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第3四半期連結会計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識はありません。

なお、当第1四半期連結会計期間において、「日本」セグメントで、当社の名古屋本社に隣接する遊休の土地について地価が下落したため、帳簿価額を回収可能価額まで減額しております。当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては11,178千円であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

海外売上高

前第3四半期連結累計期間（自 平成23年1月1日 至 平成23年9月30日）

	米州	アジア	欧州	その他の地域	計
海外売上高（千円）	531,275	1,719,830	138,467	154,776	2,544,349
連結売上高（千円）	—	—	—	—	5,877,288
連結売上高に占める 海外売上高の割合（%）	9.0	29.3	2.4	2.6	43.3

当第3四半期連結累計期間（自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日）

	米州	アジア	欧州	その他の地域	計
海外売上高（千円）	598,738	1,648,732	126,094	168,618	2,542,185
連結売上高（千円）	—	—	—	—	6,098,779
連結売上高に占める 海外売上高の割合（%）	9.8	27.0	2.1	2.8	41.7

（注）1. 海外売上高は、顧客の所在地を基礎とし、地域によって分類しております。

2. 地域に関して、その内訳は次のとおりであります。

米州……………米国、カナダ、中南米諸国

アジア……………中国及び香港、韓国、シンガポール、タイ、インドネシア、台湾、インド等

欧州……………フランス、イギリス、イタリア等

その他の地域…上記以外